

# 平成26年度長崎県食品ウォッチャー第2回活動報告について

消費者を「長崎県食品ウォッチャー」として委嘱し、食品表示等に関して不適正な食品の情報提供を受け、改善していく制度をおこなっていますが、平成26年度第2回目の報告等による活動内容を取りまとめましたのでお知らせします。

記

## 1 食品ウォッチャーの委嘱数

県内で、154名（女性：140名 男性：14名） 平成26年5月委嘱時

## 2 活動内容

日常の買い物活動の中で食品表示等に関するモニタリング活動を行い、疑問や問題があると思われる場合に情報提供  
モニタリング活動の結果について定期的報告（年間3回）  
県が開催する「食品ウォッチャー研修会」（年2回）への参加

## 3 活動結果

### 食品表示等に関する情報提供内容

件数41件（平成26年5月～平成27年1月31日）

食品分類					情報区分					結果		
食肉・卵	水産物	野菜 米・果物	加工品	その他	表示	添加物	異物混入	健康不安	その他	調査・指導	処理中	問題なし
2	4	6	27	2	36	0	0	0	5	20	3	18

### 第2回定期報告の概要（1月31日現在）

調査期間	平成26年9月1日～11月30日
調査店舗数	延べ8,693店舗
調査食品数	延べ54,257点（生鮮食品25,525、加工食品28,732）

### 研修会の開催

第1回（平成26年5月7日～5月30日）

県内8カ所を実施

長崎会場、県央会場、佐世保会場、県南会場、県北会場、五島会場、上五島会場、壱岐会場 参加者91名

第2回（平成26年8月25日～11月27日）

県内9カ所を実施

長崎会場、県央会場、佐世保会場、県南会場、県北会場、五島会場、上五島会場、壱岐会場、対馬会場 参加者95名（食品ウォッチャー以外の参加者を含む）

## 4 主な情報提供及び対応内容

疑問点	対応・処理内容
<p>国産牛肉なのに個体識別番号が表示されていないものがある。モモシャブシャブ用、肩ローススライス、ロースステーキなどには個体識別番号が表示されていることから、表示がなかったものは対象外なのだろうか。</p>	<p>国産牛肉であっても、切り落としや角切りなどのように、複数の肉を1つのパックにしたものは、表示が困難であれば、表示しないことが認められています。2～3頭分であれば表示をするよう指導しています。</p>
<p>炊き込みご飯の素に貝と調味料が入っていたが、原材料名の表示に貝が表記されていない。</p>	<p>原材料名の欄に記載されている「トップシェル」が、アカニシという貝にあたります。輸入されたものは「トップシェル」という名称になります。原材料名欄の表示に問題はありませんでしたが、名称の欄に記載の「そうざい」は、「炊き込みご飯の素」とするよう指導しました。</p>
<p>お買い得品として値段を下げて上からシールを重ねて貼ったものに、原産地が表示されていなかった。(元のシールには長崎県産と記載あり。)</p>	<p>値段を下げて表示を貼りかえる場合にも、よく注意して表示するよう指導しました。</p>
<p>個包装のクッキーに表示がなかった。</p>	<p>クッキーは、このお店のバックヤードで製造されていました。店内で調理加工したものを、同じ店内で販売する場合には、表示は不要とされています。ただし、調査時には、量り売りのものにも包装済みの商品にも、すべて表示がなされていました。</p>